

前回までの編集委員会で出たご意見と対応について

資料 1

No	項目	委員会	意見	当日の回答	対応状況	現状及び今後の対応
1	関係団体とのデータ共有について	第5回	・県が関連する資料館や美術館等のデータ管理・整理はどのような状況か。	・関連する団体のデータベースにある情報が公開可能なものか含め、今年度から来年度にかけて各館と調整を行っていく。	○	・施設が所有するデータについても、必要なものは提供を依頼。 ・調査した資料については、データ、目録等を提供している。 個人蔵資料（北川家文書）、旧役場文書（安芸市、仁淀川町など）、高知県立文学館（民話録音テープ）など
2	県史の判型・段組について	第7回	・資料編について、日記や記録類を掲載することも検討されており、カラー写真の対応について伺いたい。 ・DVDなどの附属資料について検討しており、相談させていただきたい。	・全体の刊行数や各部会の掲載資料や事情等も勘案して、調整させていただき、改めてご報告させていただく。	○	・第8回編集委員会にて判型・段組について事務局案を提示済み。なお判型について複数の印刷製本会社と協議し、第13回編集委員会にて、事務局案を提示。
3	資料の所在確認について	第8・9回	・資料の所在や情報についての情報共有をお願いしたい ・所在の調査について全体で取り組めるような体制を事務局主導で構築できないか ・所在調査の優先順位について、資料編の刊行が近いこともあり、近世が第一優先であることを理解していただきたい。また、他の部会の所在調査の際にも、近世の文書があるか等確認をしていただきたい。	・所在調査について34市町村を一巡し情報を集約、事務局の各部会担当同士で情報共有を行っている。 ・一方で合併済みの市町村については、追加調査が必要となっている	○	・合併前の旧市町村単位での調査を、令和6年度に室戸・香美地域で行ったほか、追加調査を東洋町で行った結果、前県史掲載資料が見つかった。（北川家文書）。今後も順次行っていく。 ・すでに編集作業にとりかからないといけない部会もあり、人員と予算に制限がある中、一定優先順位をつけようとして、各専門部会の意見をふまえながら所在調査を進めていく。また、所在調査の際に他部会の資料についても確認し、情報共有を行う。 ・令和7年度は、「安永日記」「南山日録」等（津野町）、故岡内英吉氏所蔵資料（四万十町）、「森山家文書」（四万十市）などを調査。 ・令和8年より、『高知県史史料目録』や旧自治体史で確認された資料について、所在確認調査を開始（土佐清水市、大月町、四万十市実施予定）。 ・令和8年5月より、宗教系資料の調査協力を得るために、高知県神社庁や高知県仏教会を近世部会長と事務局が訪問し、協力を依頼。 ・今後も引き続き、『旧県史目録』等に記載の情報を元に、資料所在調査の実施を検討する。
4	高知県史の広報について	第7・8回	・県史編さんに関する資料や文献の所在情報等について、情報提供の呼びかけをHPに掲載できないか。 ・「高知県史」と検索して出てくるような工夫及びFacebook等SNSを利用した発信を検討いただきたい。	・情報提供の呼びかけと連絡先についてHPに掲載するようにする。 ・順次HPの拡充を行っていく。	○	・資料の所在情報については、市町村訪問時に担当職員に毎回提供依頼を行っており、HPにも掲載を始めている。その結果、情報提供も実際にあり、調査に行った事例もあり。 ・SNSについてはR6から「とさぶし」が1月に5回Instagramを発信する予定。（県史情報も含む）その他、令和6年度末より毎年の発刊を予定している「ときのあかし」についてもFacebookにて月1回、順次調査の様子等の紹介を始めている。 ・また、県史編さん室の業務報告として「ときのあかし」やHPにて引き続き県民向けに公開していく予定。 ・令和7年度からInstagramのアカウントを開設。Facebookと連携する形で投稿を実施。
5	資料調査の成果報告について	第9回	・調査の成果報告会について編集作業と並行での実施については負担も大きく、規模感を考えた具体的な計画が必要。 ・刊行の翌年に、成果に基づいた講演会の開催を基本スタンスとするのがよいのではないか。	・今後も具体的な案を出しながら検討していきたい。 ・各部会からも成果報告の場の要望について出していただければと思う。	○	・令和7年度は、12月7日（土）に四万十市立武道館にて成果報告会を開催。 ・33人参加。
6	編さん委員会の進め方について	第11回	・具体的な意見や注文が出るようにするためには、進捗管理を厳しくするのではなく、興味を持てる内容を盛り込むことではないか。 ・各部会がそれぞれ報告するのではなく、編集委員会で報告した内容をワンペーパーで報告したうえで、直近で注目された資料等を紹介し、質疑や議論をするのがよいのではないか。	・事務局にて具体的な構成案を検討する。	○	・第12回編集委員会にて、構成案を事務局より報告。 →各専門部会の報告について、基本的にはワンペーパーにまとめ、部会長からの報告数を絞り、質疑応答の時間を大幅に作る形で実施した結果、ご意見をいただいた。
7	人権的な配慮を必要とする事項について	第11回	・同和問題は地域によって扱い方がかなり異なるが、現在の場所を特定されるような表現は避けるということを厳守する必要がある。	・過去の事例等を第12回の編集委員会にて各委員から紹介いただく形で協議予定。	△	・第12回編集委員会以降、県史としての取扱いを協議中。

『高知県史』の掲載内容等に関する主なご要望

資料2

日時	項目	概要	要望者	関係する主な部会（予定）								対応の方向性		
				古代 中世	近世	近代	現代	考古	民俗	文化財	自然			
R3.11	移民関係 (旧満州, 南米)	旧満州からの引揚げ、また南米移民に関して調査してほしい	県議会議員			○	○							<ul style="list-style-type: none"> ・前回県史にて取り上げた項目。部会内で協議し、担当委員を選任。具体的な調査については今後検討予定。（近代） ・令和5年度に満州移民について旧西土佐村にて、令和6年度は南米移民関係について海外資料に関する資料所蔵施設に聞き取り調査を実施。（現代）
R3.11 R6.9	よさこい祭り	よさこいは高知の特色ある祭りであり、調査及び歴史について調査してほしい	県議会議員 大学職員				○				○			<ul style="list-style-type: none"> ・県内の祭礼について、各地域にて調査中。民俗編で「まつり」を項目とし、伝統的な祭礼とともに「よさこい」を扱う案もあるが、確定されたものではないため、今後も検討を進めていく。（民俗）
R4.4	南海トラフ地震	新たな県史では、南海トラフ地震など震災関係は、どのように取り上げられるのか	編さん委員								○			<ul style="list-style-type: none"> ○各時代の専門部会において、南海トラフ地震など災害の歴史を取り上げる。 ・本編の構成案で、古代における地震など自然災害を取り上げている。（古代・中世） ・資料編の構成案で災害関係を取り上げており、資料調査を進めていく。（近世、近代） ・災害単体ではなく「くらし」との関連の中で問題を検討していく。（現代） ・物部町の久保高井の山崩れ伝説をはじめ、災害にまつわる伝承の残る地域での聞き取り調査を行っていく。（民俗）
R4.7	仁淀川水系の 水害	日高地区の水害の歴史について取り上げてほしい（鎌田堰の影響による洪水発生、村に明治以降の治水関係資料あり）	日高村		○	○	○	○				○		<ul style="list-style-type: none"> ・物部町の久保高井の山崩れ伝説をはじめ、災害にまつわる伝承の残る地域での聞き取り調査を行っていく。（民俗）
R4.9	大寺廃寺	高知市春野の大寺廃寺について、本県の古代史の解明が期待できるため、発掘等の調査をしてほしい	春野文化財 友の会	○					○			○		<ul style="list-style-type: none"> ・県内の古代寺院については、古代・中世、考古及び文化財部会において、地元自治体と連携しながら調査地の検討・部会協議を進めていく予定。（事務局）
R4.10	ビキニ環礁被曝	新たな県史編さんにあたり、被災の実態を県としても調査・記録し、後世に広く伝えるよう記載してほしい	県議会議員				○							<ul style="list-style-type: none"> ・ビキニ被災に限らず、重要な戦後の歴史を取り上げていく。（事務局） ・令和5年度に宿毛市、令和6年度に室戸市にて調査実施。（現代）
R4.10	幡多地区の歴史	高知市中心の歴史だけではなく、幡多の歴史も取り上げてほしい（文武館、法然上人、迅衝隊など）	樋口真吉 顕彰会								○			<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に、幡多地域をフィールドとした資料調査を実施。（近世）（現代）（民俗） ・令和6年度以降も調査実施予定しており、既に令和6年度近代部会の合同調査では四万十市の郷土博物館や土佐清水市の議会事務局等で調査を実施した。（古代・中世）（近代）（考古） ・現代資料編では、高知県西部(主に幡多地域)に焦点をあてた構成を検討している。
R5.4	昭和の教育	昭和時代の本県の教育史を知る方は年々少なくなっており、昭和の教育史に力点を置いてほしい	高知新聞 オピニオン			○	○	○				○		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に県立高知小津高等学校の資料調査を実施。（近代） ・令和5年度に県立高知工業高等学校及び県立春野高等学校の校友会資料、土佐清水市旧大津小学校資料の調査を実施。（近代）（現代） ・令和6年度には土佐女子中学高等学校、市立高知商業高等学校の資料調査を実施。（近代）
R5.10	海外資料の調査	資料調査活動を県内にとどまらず、海外も視野に入れて積極的に行ってほしい	県議会議員								○			<ul style="list-style-type: none"> ・本県に関する資料が海外にも所在することを把握している(戦争関係資料など)。そこで、現地の県人会などの協力のもと情報を収集し、必要性を精査したうえで海外調査を検討したい。
R6.6	無形の文化財の 記録化	伝統工芸などの貴重な技術を次の世代に引き継ぐために、(製作過程などを)動画で残すなど、早く調査してほしい	県議会議員									○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・調査における資料採取は、できる限り写真や動画などデジタルデータで収集・保存している。 ・伝統工芸など無形の文化財は、関係の専門部会で協議のうえ調査を進めるが、収集したデジタルデータは、将来的に公開を検討しているデジタルアーカイブで共有するなどにより、次の世代への継承につながるよう取り組んでいきたい。

『高知県史』の掲載内容等に関する主なご要望

資料2

日時	項目	概要	要望者	関係する主な部会（予定）								対応の方向性	
				古代 中世	近世	近代	現代	考古	民俗	文化財	自然		
R7.4	文化史や宗教史の掲載	文化史、特に文学史を取り上げてほしい。宗教史（四国遍路や県内の宗教の広がりなど）も取り上げてほしい	県議会議員				○						○宗教や文化に関する資料は、各時代の専門部会で取り上げていく計画。 (例) ・資料編2に宗教や文学の史料を収載。(古代・中世) ・資料編2・3に宗教・文化の史料を収載。(近世) ・資料編に「宗教と文化」の章を立て、資料収載予定。(近代) ・資料編に「教育・文化」の項を立て、資料を収載予定。(現代)
R7.9	自由民権活動家の調査	山嶽社、和田三郎について調査をしてほしい	編さん委員		○								・和田三郎や山嶽社の活動については、資料編1、資料編2で取り上げていく。通史編においても、取り上げていくことを検討。
R7.9	高校教員を対象とした見学会・研修会	高校生、大学生だけではなく、歴史を担当する若い職員たちへの研修や見学の機会を設定してほしい。	編さん委員							事務局			・令和7年度に実施した高校生の見学受け入れ時に、職員が計4名参加。 ・県立学校長会議、高知市立学校長連絡協議会、高知県市町村教育長会議にて当事業の概要を周知。 ・また、教職員に対し、県史編さん事業の周知を実施 (参考) R7年度：高知小津高校、高知北高校、高知国際高校、高知学芸高校、土佐高校、土佐女子高校へ訪問 R8年度：高知丸ノ内高校、春野高校、高知東高校、岡豊高校へ訪問、土佐塾高校へチラシ配布
R7.10	同和問題の取り上げ方について	全体の部落問題の取り上げ方について、記載方法としては、差別の拡散ではなく、差別解消的な記述方法を求められる必要があり、その方向性を明確にすること。	県議会議員							編集委員会／事務局			・県史編さんでは、同和問題をはじめとする人権全般について「高知県人権施策基本方針」に則った「人権的な配慮を要する事項及び個人情報等の取扱いに関する方針」を策定を予定している。今後の県史編さんにおいては、策定した方針に沿って進めていく予定である。
R7.10	同和問題の取り上げ方について	「部落問題」の取りあげ方について、「近世」から「現代」までを貫く位置づけが必要であり、現状において、当事者団体、関係団体（個人を含む）との協議がなされおらず、相談・協議とまではいかななくとも、最低限、意見聴取とそれに対するフィードバックが必要ではないか、そのあり方と反映の仕方について明確にすること。	県議会議員							編集委員会／事務局			・『高知県史』は本県の歴史を学術的に記述するものであることから、各専門部会において、必要に応じて有識者の協力を得て検討を進めている。その検討は各専門部会において、担当する時代・テーマごとに進めており、現時点では、特定の課題を横断的に取り上げていない。 ・同和問題をはじめとする人権全般の課題については、これまでの協議やいただいた要望も踏まえ、県史編さん編集委員会として十分に議論した上で「人権的な配慮を要する事項及び個人情報等の取扱いに関する方針」を定め、その叙述について慎重に取り扱うこととした。 ・方針や県史の検討状況は、その都度ホームページに掲載している。県史事業に対するご意見や要望は、ホームページなどで随時受付けており、いただいた意見・要望は事務局で集約のうえ、編さん委員会・編集委員会で検討し、その結果をホームページに公表している。

古代中世部会 活動報告

(1) 部会など会議の開催

○部会長・副会長・事務局協議 4月7日(火)9時半～ Zoom

- * 「資料編 古代・中世1」刊行にむけた作業状況の確認
- * 「資料編 古代・中世3」長宗我部氏関係史料の収集作業について
- * 令和8年度史料編纂所受託研究の実施方針について
- * 第10回古代・中世部会の議題確認

○副会長・事務局協議 4月20日(月) 於高知大学

- * 会計年度任用職員の業務内容確認(長宗我部関係史料)

○部会長・事務長会議 4月30日(木)13時半～ Zoom

- * 令和8年度史料編纂所受託研究で行う事業の詳細調整
- * 部会開催に向けた現状確認や作業確認

○第10回古代・中世部会 5月17日(日)14時～ 於東京大学史料編纂所

- * 「資料編 古代・中世1」刊行にむけた作業状況、および今後のスケジュール確認
- * 令和8年度史料調査について対象史料および予定確認
- * 人権に関する事項や個人情報等の取り扱いについて検討
- * 第2期計画について

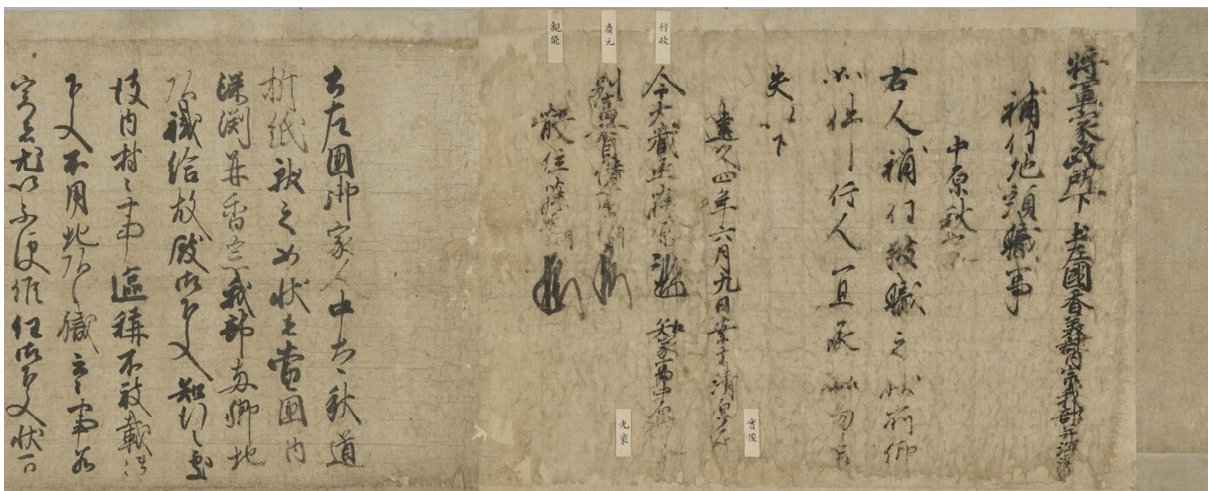
(2) 史料調査等

* 事務局調査

- ・ 3月5日(木)水戸市立博物館 「毛利輝元宛長宗我部元親書状」(個人蔵)・
「水戸鈴木家文書(浦戸城接收関係文書)」 熟覧調査

* 委員による調査

- ・ 3月6日(金)東京国立博物館「香宗我部家伝証文」1～3巻 熟覧調査
委員：井上、岡本、守田



(3) 資料編編纂にむけた作業状況

○事務局における作業

* 古代史料の校正

森委員作成のデータ 430 件分の校正作業を継続

* 資料編 1 収載予定史料群のうち未デジタル化データの整備

「安芸文書」(235 点) など

* 資料編 3 所収予定の長宗我部関連史料の抽出作業

『徳川家康文書』中巻・下巻からの抽出作業など

○史料編纂所における作業(受託研究)

* 統合文書目録の整備(別添参照)

約 2500 点の収録文書データについてメタデータ整備を継続

・重複データの削除、史料所在(旧所在)地の確定、所蔵者情報の統合

→郡別・家別に編成するための基礎作業

* 資料編 1 収載予定のテキストデータの作成

統合文書目録収載分のうち、476 点分のデータ生成・1 次校正を完了

→担当委員による 2 次校正(史料デジタル画像ほかとの校合など)へ

* 中世史料の校正原則の検討

資料編 1 における中世史料版面を想定しながら、校正にあたっての細則を検討

凡例確定を意識しつつ、人名・地名の表記統一、注・案文の体裁などを確認

(4) 今後の予定など

○今後の調査予定

(継続)

・水戸市立博物館：年度前半に再度委員による調査を企画

・みとよ未来創造館：年度前半に秋山家文書の継続調査

・東京国立博物館：9 月頃に香宗我部家伝証文 4~6 巻の熟覧調査を予定

(新規)

・高知城博物館：「長宗我部元親・盛親連署印判状」「長宗我部盛親判物」(宇賀家文書)

・年度前半に城博と共同調査を検討

○資料編 1 収載史料テキストの校正作業の本格化

5 月 17 日の第 10 回部会以降に、担当委員間で作業を本格化の予定

○資料編 1 収載予定史料のテキストデータ生成強化

未デジタル化史料について本格的にデータ生成を進めてゆく。

○資料編 3 にむけた長宗我部関係史料の収集強化

関連史料の検出作業を推進し、収載範囲や収載方針の確定を図る。

nc	和暦	西 code	文書名	所蔵	郡	県欄	トース	収録	収録	収録	収録	他収録	影写・謄写	マイクロ	デジタル	備考
2	応徳2年11月12日	10850110120	某所擧中分状写	安芸氏	高知		3						安芸文書			
4	保安3年7月26日	11220070260	金峯山寺権檢校職補任	安芸氏	高知								安芸文書			
6	久安4年7月25日	11480070250	遠江守某下知状	安芸氏	長岡郡								吸江寺文書			
10	承安1年12月12日	11710120120	弁官下文	安芸氏	県外								宮司旧記 石清水八幡宮史料叢書四			
12	辨永3年3月1日	11840030010	平裏下文	安芸氏	記録		10									
13	元暦1年7月29日	11840070290	源頼朝補判下文	安芸氏	県外		11						香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	
14	元暦2年月日	11850050550	土佐國夜須地頭職相伝	安芸氏	高知								安芸文書			
15	文治2年2月22日	11860020220	某補判下文	安芸氏	安芸郡		12						安芸文書			
16	建久4年6月9日	11930060090	程軍奏政所下文	安芸氏	県外		13						香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	K671
17	建仁1年7月10日	12010070100	平時政書状	安芸氏	県外		14						香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	K1233
18	建仁3年8月4日	12030080040	平時政書状	安芸氏	県外		15						香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	K1371
20	承久3年8月1日	12210080010	六波羅御教書	安芸氏	県外		17						香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	K2791
22	貞応2年7月16日	12230070160	關東御教書	安芸氏	県外		19						香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	K3137
23	貞応3年2月25日	12240020250	關東御教書	安芸氏	県外		20						香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	K3218
25	嘉祿2年9月22日	12260090220	三浦義村書状	安芸氏	県外								香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	K3530
26	嘉祿3年1月16日	12270010160	丹治國弘所領讓状案	安芸氏	高知								安芸文書			K3564
27	貞安2年5月23日	12280050230	物部清延四至注文断簡	安芸氏	高知								安芸文書			K3750・補939
28	寛喜3年4月22日	12310040220	石清水八幡宮寺公文所	安芸氏	県外								神業集冬 石清水八幡宮史料叢書四			K4130
29	寛喜3年9月14日	12310090140	某捨券文断簡	安芸氏	高知								安芸文書			K4215
30	嘉禎2年12月11日	12360120110	土佐國留守所下文	安芸氏	高知											K補1211
33	寛元2年11月1日	12440110550	守護所兼地頭代平氏寄	安芸氏	長岡郡		23									
36	宝治1年12月1日	12470120550	小野某香進状	安芸氏	長岡郡		26									
38	建康1年9月17日	12490090170	法橋誨文讓状	安芸氏	長岡郡		29									
47	元永2年11月10日	12600110100	補董某売券	安芸氏	高知								安芸文書			K7122
48	元永2年8月9日	12600080550	土佐國司庁宣	安芸氏	高知		39						香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	香宗我部家伝証文	K32686は正慶と推定
49	文永5年1月11日	12680010110	某下知状	安芸氏	県外								安芸文書			K9853
55	弘安1年12月21日	12780120210	清重治券	安芸氏	高知								安芸文書			K13330
56	弘安1年12月21日	12780120210	清重治券	安芸氏	高知								安芸文書			K13331
59	弘安5年7月16日	12820070160	將軍家政所下文	安芸氏	県外											
61	弘安6年8月8日	12830080550	上座職補任状	安芸氏	高知											
62	弘安7年5月5日	12840050550	某下文	安芸氏	高知											
64	弘安9年12月4日	12860120040	某補判安堵状	安芸氏	県外		49									
68	正応1年8月8日	12880080550	某補判安堵状	安芸氏	高知											
80	(永仁3) 9月10日	12950090100	伏見天皇繪旨	安芸氏	県外											
86	永仁7年2月10日	12990020100	重賢讓状	安芸氏	高知											
88	正安1年10月14日	12990100140	某補判免除状	安芸氏	高知											
89	正安1年10月14日	12990100140	某補判免除状	安芸氏	高知											
90	正安2年2月9日	13000020055	安芸代官定宗宛行状	安芸氏	高知											
93	正安2年10月3日	13000100030	佐伯光弘宛行状	安芸氏	高知											
101	正安4年4月25日	13020040250	定門讓状	安芸氏	高知											
103	嘉元2年3月18日	13040030180	慶慈押書	安芸氏	高知											
105	嘉元2年4月4日	13040040550	神保田別当充行状案	安芸氏	高知											
114	嘉元4年3月22日	13060030220	宣旨	安芸氏	高知											
115	嘉元4年4月16日	13060040160	中唐重通讓状	安芸氏	安芸郡		88									
120	建應1年2月9日	13080020550	安芸橋親兵衛請定書	安芸氏	高知											
137	正和4年11月13日	13150110130	土佐仁井田社神主職補	安芸氏	高知											
140	文保1年月日	13170550550	土佐仁井田社神主職補	安芸氏	高知											
141	文保2年2月10日	13180020100	土佐大忍在政所下知状	安芸氏	高知											
145	元応元年8月12日	13190080120	伴内身曳状	安芸氏	高知											

近世部会 活動報告

(1) 第10回近世部会調査（令和8年3月26日～3月29日）

1 史料群名

北川家文書（個人蔵）

2 史料群の概要

安芸郡野根郷野根村（現：高知県東洋町）の惣老を勤めた北川家に伝わる古文書。北川家の年譜をはじめ、藩主巡覧、財政関係、阿波との国境関係史料、土地開発、宗教関係など内容は多岐にわたる。

※旧『高知県史 近世史料編』（以下、旧県史）に掲載の史料群

3 調査の日時、場所及び人員

日 時：令和8年3月26日（木）～3月29日（日）

場 所：正庁ホール

調査人数：総勢29名

（委員8名・県内学芸員3名・院生14名・県内学生5名・事務局2名）

4 調査の方法

調査カード…史料1点ごとに調査カードを作成

5 史料点数

箱12（※前回の続き）…800点 / 箱5（※調査途中）…446点

合計1,246点

6 調査の結果

<成果>

- ・借用した2箱中1箱終了
- ・旧県史編さん時に整理したと思われる箱からは、整理番号の記載あり
→旧県史の写真帳との照合中

<課題>

- ・旧県史と写真帳の照合作業を行い、史料の残存状況を把握する
- ・個人蔵の史料保存方法（※所蔵者に打診済み）

7 今後の調査の方向性

- ・今年度9月の部会調査も引き続き北川家文書調査実施予定

(2) 令和8年度第1回近世部会（5月9日～5月11日）

- ・『資料編 近世1』の編集状況報告
→令和8年3月末に取りまとめた原稿をもとに、印刷業者との状況報告を行った。入稿前の最終確認や目次・凡例の修正、口絵の候補等を決定した。
- ・今年度のスケジュール確認（別紙スケジュール参照）
- ・『資料編 近世3』および『資料編 近世2』の構成及び掲載史料検討

(3) 今後の日程

- ・8月3日～5日 令和8年度第2回近世部会（初稿作業確認）
- ・9月14日～17日 第11回近世部会調査

【調査作業風景】



写真1 第10回近世部会調査（3月26日）



写真2 北川家文書調査見学会



写真3 北川家文書（箱12）

令和8年度スケジュール

		令和8年4月	令和8年5月	令和8年6月	令和8年7月	令和8年8月	令和8年9月	令和8年10月	令和8年11月	令和8年12月	令和9年1月～3月
編集作業	部会・事務局	入稿方法の確認 段組みなどの最終確認	印刷業者打ち合わせ ※5月末入稿予定		校正(1回目) 解説執筆 ※期間は2ヶ月	8/3～8/5 初稿作業確認 解説〆切：8月31日	巻頭言・目次 関係者名簿入稿準備	校正(2回目) ※期間は1ヶ月半程度	11月中旬 校正(2回目)戻し	校正(最終) ※数週間程度 12月末校了 謹呈差し込み部数 送付状原稿決定	
	印刷業者		※版組作業開始	初稿作成期間 (※約1ヶ月)			初稿修正 (※約1ヶ月)		校正(2回目)戻し ※12月上旬まで	最終確認期間	1月 製版 2月 印刷・製本 3月 梱包
資料編近世2・3		史料所在調査・翻刻 (※宗教関係史料優先)	近世2・3 構成検討				巻構成仮案提出 近世2・3の掲載項目検討 ※近世3 主担当協議			近世3 掲載候補リスト作成	

【これまでの編集スケジュール】

- 令和4年度 10月 翻刻作業・翻刻人材育成開始（「藩志内篇」・山中家文書等の翻刻）
- 令和5年度 5月 『資料編 近世1』（以下、近世1）の掲載史料検討・調査（山内家・五藤家・加賀野井家等の武家中心）
6月～7月 『近世1』 主担当：掲載候補史料群等の目録の通覧、候補リスト提出
8月 『近世1』 主担当より掲載史料候補リスト提出→部会協議
※『近世1』 掲載候補史料の翻刻開始
- 令和6年度 12月 『近世1』 翻刻史料の選定作業
※掲載候補リスト全点を全委員で確認・他巻への振り分け作業・翻刻の優先順位決定
- 令和7年度 4月 『近世1』 の掲載内容決定・凡例検討（「藩志内篇」、領知、法令、国勢）→委員担当部分の振り分け、原稿校正作業開始
9月 『近世1』 版面決定（A5判 18行×20文字 2段組）
校正作業（1回目）
12月 校正作業（2回目）・目次表記方法検討
3月 校正作業（3回目）・目次表記方法検討
- 令和8年度 4月上旬 最終原稿提出
5月 令和8年度第1回近世部会（※入稿前の原稿最終確認）

1, 部会の開催

(1) 第17回部会：4月8日（高知大学+ズーム）

①今年度の事務局の体制

新任の部会担当職員（深谷侑生さん）の紹介

②資料編Ⅱの編集の進め方

・昨年12月から続けてきた「進捗状況及び成果報告会」の継続

第4回報告会（9月開催予定）で掲載資料第1次候補案を各委員が提示する

・翻刻資料の各委員への戻しの方法

2, 撮影及びクラウド登載資料

(1) 撮影、複写資料

①「北原村資料」（土佐市民図書館蔵） ②「本山町議会事務局資料」（本山町役場蔵）

③『福音新報』（同志社大学人文科学研究所蔵のマイクロ資料）

④「土佐清水市議会事務局資料」

(2) クラウド登載資料（他機関提供データ）

①「竹林寺古文書」（高知城歴史博物館蔵の複写データ）

住職船岡芳信の竹林寺復興、特別保護建造物指定、勸化関係など

②寺石正路『恩光餘慶』（高知県立歴史民俗資料館蔵）

③「吉井源太資料」（いの町紙の博物館蔵）の一部

④「兵事関係資料」（オーテピア図書館蔵）

3, 今後の撮影・調査の予定

①「北原村資料」「本山町議会資料」「吉井源太資料」の撮影の継続

②大原社会問題研究所の米騒動関係資料 リストアップ済

- ③「堀見家資料」(高知県立歴史民俗資料館蔵) リストアップ済
- ④「五藤家資料」(安芸市歴史民俗資料館蔵) リストアップ済
- ⑤外務省外交史料館蔵の移民関係資料 7月末調査予定
- ⑥「北川家文書」(安芸郡東洋町野根の北川家所蔵) 現地の状況調査

4, 今後の部会のスケジュール

・第18回部会及び現状報告会 7月4日(高知大学)

・合同調査 9月3～5日

高知市立自由民権資料館の所蔵資料

オーテピア図書館の特設文庫の旧村資料(一宮村、布師田村、朝倉村、三里村、旭村)調査

・第19回部会及び現状報告会 (日時未定)

現代部会の調査および編集に向けた対応状況について

令和8年6月4日
高知県史編さん現代部会
正副部会長

1 資料編の構成について（令和8年3月部会で提案：協議はこれから）

(1) 3巻編成の留意点

第2巻・第3巻では網羅主義による資料編にする

高知県史の現代に関する調査研究は、県史開始以前の蓄積が乏しいため、第1巻は、現代部会発足以降、調査が進んだ内容を中心にして重点主義の収録とした。第2・3巻では、県史が半世紀に1度の事業だということをふまえ、網羅的に広く史料を収録し、歴史研究への示唆を示しておくことが重要であり、網羅主義とする。

(2) 資料編の構成と時期区分

第2巻・第3巻では、第1巻同様に、第1部は高知県全体、第2部は地域で収録する。第1部は、時代で区分するなかで、テーマごとに史料を収録する

第1巻 暮らし1 高知県全体（戦後通覧）と県西部

第1部 高知県全体の歴史

第2部 高知県西部

第2巻 暮らし2 高知県全体（敗戦～1972年）と県東部

第1部 高知県全体の歴史（敗戦～1972年）

第1章 1945～1955年【第1期】

（戦後高知県の出発と新時代への模索）

第2章 1955～1972年【第2期】

（高度成長と地域開発、過疎の時代）

第2部 高知県東部

第3巻 暮らし3 高知県全体（1973年～直近）と県中央部

第1部 高知県全体の歴史（1970年代～現在）

第1章 1970～1980年代【第3期】

（開発と地域を見直す時代）

第2章 1990～直近【第4期】

（自然と地域再発見の時代）

第2部 高知県中央部

(3) 第2巻・第3巻第1部(県全体)の構成案

- ①政治・行政・自治 県政治、県行政、県議会、県自治、市町村政治、市町村行政、市町村議会、市町村自治、国政・対外関係(日米安保)、国際交流・自治体間交流、住民運動・平和運動、県・市町村財政
- ②経済・産業・生業 農林漁業、製造業、商業、建設業、鉱業、電力・水道、交通、金融、観光、サービス業、労働
- ③社会・文化 都市・農村生活、コミュニティ・地域づくり、移民・移住、人権問題、ジェンダー、文化・思想、娯楽、メディア、文芸(文芸誌)、芸術、スポーツ(相撲、マラソン)、歴史意識、祭り(よさこい)、宗教
- ④教育 学校教育(小中高大)、保育・幼児教育、障害児教育(盲・聾・養護)、産業・職業教育、社会教育
- ⑤医療・福祉 保健、福祉、医療
- ⑥自然環境 開発と公害、自然保護、暮らしと環境問題(産消提携)、災害(地震・台風・水害)

2 専門部会及び合同調査の実施状況

(1) 第12回専門部会(令和8年3月28日実施:合同調査と併せて実施)

①第1巻目次構成

○目次担当箇所調整

令和8年1月から2月に担当委員間で調整し、目次部分の担当はほぼ確定させた。また、5月には、頁数の分担も調整を進め、6月の第13回部会において、各委員の担当頁数を確定することとしている。

②資料編第2巻及び第3巻の構成内容の検討及びスケジュール確認

令和8年6月オンライン部会および8月部会で協議

③人権に関する事項や個人情報等の取扱いについて

編集委員会において策定を予定している「人権的な配慮を要する事項及び個人情報の取扱いに関する方針」を基に協議した。

なお、資料選定時の各委員の参考として、県立公文書館における閲覧請

求に関する審査基準を、参考資料として配布することとした。

(現時点では掲載不掲載の選定ではなく、どういう視点を基に資料選定を進めるかの参考資料としての取扱)

④ 県内3地域(西部・東部・中部)の掲載区分について

資料編1の地域編においては県西部の資料掲載を予定しており、現代部会としての県西部地域の境界を県内の地域区分を基に協議した。

現時点での協議結果としては、昭和40年代から50年代における西南開発構想の該当地域等を参考に、現在の幡多郡及び四万十町を予定。

なお、中土佐町に関しては、改めて6月の部会等で西部または中部のどちらにするか検討する。

また、東部については、旧香美郡の取扱いを東部または中部とするかがポイントとなる見込み。

(2) 合同調査(令和8年3月25~28日実施)

①地域: 県東部(室戸市・東洋町)

②調査: 東洋町役場、県漁協室戸統括支所(旧室戸漁協)、室戸市商工会
移住者の方への聞き取り(県外⇒高知へ)

③成果: 1) 県内ではじめて漁協および商工会の系統的資料を発掘
・室戸漁協『役員会議事録綴』昭和38年~平成元年
石油危機、200海里問題、韓国マグロ、全国表彰
・室戸市商工会『会議録綴』昭和35年~平成2年
事業計画、事業報告書、青年部・婦人部の活発な活動
景気・漁業の影響、量販店進出、観光開発

2) 漁業関係の資料収集

室戸市漁協、東洋町陳情書

3) 室戸への移住者の方への聞き取り(ご夫妻で高知へ移住)
地域おこし協力隊として採用され、8年間在住されている。
県東部の移動・移住の例として興味深い。

4) 泉井鐵工所(室戸市)の見学 遠洋業と結びついた鐵工所

(3) 今後の予定

○第13回部会(6月オンライン予定)での協議内容

- ・資料編1の頁数の調整結果
- ・資料選定状況の確認
- ・人権的な配慮を要する資料の取扱い方
(部会における内容確認の方法も協議)

- ・地域区分について
- ・資料編 2・3 の構成検討
- 第 14 回部会(8 月対面予定)での協議内容
 - ・資料選定の確定結果の確認(令和 8 年 9 月末:掲載候補が確定)
 - ・資料編 2・3 の構成確定
 - ・個人情報に関する資料の取扱い方の検討
- 合同調査(8 月実施予定)
 - ・県東部(安芸郡、旧香美郡等)への調査を予定

第15回 編集委員会考古部会資料

テーマ 『高知県史資料編 考古1 (旧石器時代～古墳時代)』の可視化

1、『資料編 考古1』の調査および編集

- (1) 巻頭図版→候補リスト作成
- (2) 概説→現県史を元に夏までに叩き台を作成
- (3) 旧石器・縄文時代→編集の継続から完成へ、その後コラム・特別項目・総括の検討
- (4) 弥生・古墳時代→編集および鉄製品と古墳調査の継続、その後コラム・特別項目・総括の検討
- (5) 資料編1の総括→古墳の測量や国分寺関係調査などをふまえた本編への誘いを見据えた基本的なシナリオの検討
 - ①旧石器時代から古墳時代へ高知の歴史はどのように変わっていったのか。
 - ②それは周辺地域との関係を含めた日本の歴史のなかでどのように位置づけられるのか。
 - ③古代へ向けて。
 - ④本編への誘い、高校の先生との連携の検討
- (6) 仮称4世紀問題→基準資料の可視化をふまえた馬場末式と甕・高杯の型式編年の検討、居徳遺跡資料の検討
- (7) 刻書土器の科学分析→分析関係資料の準備→分析方法の検討
- (8) 歴史的景観復原→島田豊寿先生資料の検討 (図)

2、『資料編 考古2・3』の調査

(1) 資料編 考古2

①東洋町南海道駅路と池山寺跡の調査 20260413 (大橋委員)

南海道駅路ルートと駅家

○近世土佐街道であると思われるが、大規模な切り通しもあり、古代の道の雰囲気も感じられる。

○駅家は奈半利町コゴロク廃寺付近と山中の1か所、更に野根山を降りた二本松付近や、中世の交易地・宿場である八島千軒(後に土石流で埋没)付近に駅家の候補地が想定できる。

池山寺跡

○東洋町の法喜院に、池山寺(10～12世紀)の仏像群が残っており、仏像群と棟札を拝見。

- 池山寺は標高約 450m の高所に存在し、宝永地震（南海トラフ地震）後の豪雨により池山寺は崩壊。下流の村は土石流で埋没したことが、現在の集落地下約 2m から五輪塔群が発掘されたことより分かった。
- 池山寺は土佐国東端の山林寺院として重要な位置づけであることを確認。

②貿易陶磁器の調査協力

③守護所推定地関係資料の検討

④山城調査

（2）資料編 考古 3

- ①近世墓の調査および近世部会との協議
- ②高知城下町調査についての検討
- ③戦争遺跡の項目作成からリスト整備へ
- ④石造物の基盤情報の作成→
- ⑤水中遺跡の検討→

3、部会を越えた意見交換と共同調査について

（1）「文化財部会」との調査分担の可視化と共同調査

（2）「古代中世部会」および「民俗部会（地名）」との守護所・土居と集落・市と集落・大高坂城下・中村城下などの島田豊寿先生の研究をふまえた意見交換と共同調査

（3）「近世部会」との野中兼山関係の共同調査、「土佐国浦々之図」および土居・村絵図等の情報共有、島田豊寿先生の研究をふまえた高知城下町についての意見交換、京大北部構内の土佐藩白川邸の共同調査

（4）「近代部会」との戦争遺跡についての意見交換

4、普及・広報・教育

- （1）ときのあかし→吉成委員「中世」、追川委員「史跡山内家墓所」
- （2）考古資料の3次元化による地域の魅力発信と教育支援

5、考古部会に関係する県内の動向

（1）『高知考古学研究』10

宮里修「南四国弥生時代甕形土器の分類と体系」

出原恵三「南四国における縄文～古墳時代の木製農具・工具について」、

香川将慶「土佐国分寺造営に関する研究」、

油利崇「土佐山田古窯跡群における古代瓦供給関係の検討」、

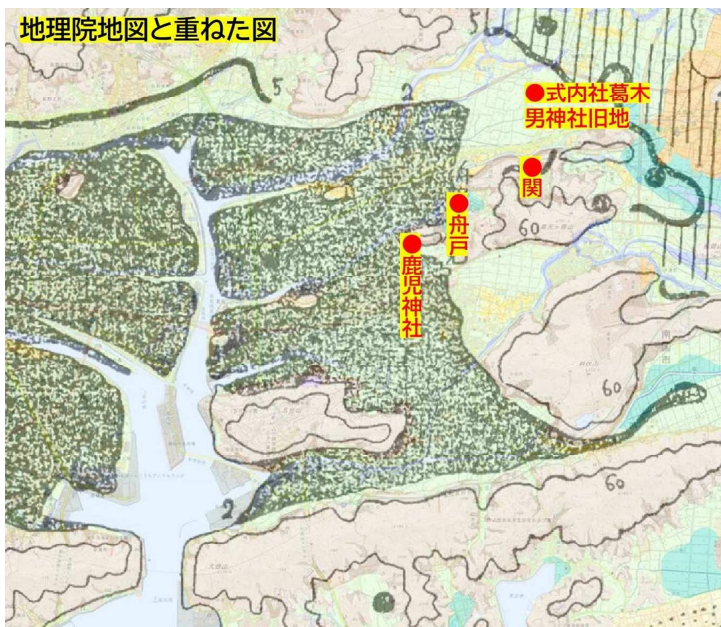
岡寺良「近世土佐藩の狼煙場」

(2) 高知県立埋蔵文化財センター

【応援事業】企画展Ⅰ「高知の遺跡展—奥谷南遺跡—」～7月5日(日)

(3) 安芸市立歴史民俗資料館

令和8年度コレクション展Ⅰ「絵図の世界 PART2」～8月2日(日)



【紀氏時代、弥生式期の汀線復旧図】

「2mを採用し該標高をトレース」
「舟戸」より「川原島」をすぎ「石淵」
に達し、それより略々**現在の土譜線**
に沿い、西は「小高坂」「新屋敷」より
南下して、「潮江」「塩屋崎」に達す
「偶然とは言え」「北浦」「小津」「潮江」
「津崎」「長崎」「中津」等、**臨海性を表**
象する小字地名を連結
「内には大島(五台山)田辺島、比島、
葛島等、**湾内七島**と称せられるもの
を内含」
「孤立丘陵である鹿児島は、半島状に
湾内に突出」「まさに「土佐日記」**二**
十八日の条を髣髴たらしめる」

島田(松本)豊寿1957「高知平野
に於ける先史時代海岸汀線の研究」
『土佐史談』92

民俗部会 活動報告

令和8年6月4日

1. 前回編集委員会(R8.3.15)以降の民俗部会の主な活動（予定含む）

- 『資料編 民俗1 民話・民謡・地名』執筆要領協議（3月17日）
事務局作成の執筆要領案をもとに、民話・民謡・地名の執筆者が案を検討。
- 『資料編 民俗1 民話・民謡・地名』地名班執筆者会議（3月23日）
3/17執筆要領協議を受けて、地名班の調査協力員が執筆要領確認、分担や内容等を協議。
- 『資料編 民俗1 民話・民謡・地名』地名担当調査協力員との協議（4月20日）
地名編執筆にかかる基礎作業（データベース作成、地名分布など）の進め方について協議。
- 『資料編 民俗2 民具(仮)』にむけた 第1回民具巡検調査（5月20~21日）
民具編の編さんに向けた巡検調査を令和8年度に4回実施予定。
第1回は県東部を巡検。東洋町野根、馬路村郷土館、芸西村文化資料館。
- 第16回民俗部会（5月23日）
〔報告・協議内容〕
 - ・『資料編 民俗1 民話・民謡・地名』の編集状況
 - ・『資料編 民俗2 民具(仮)』の調査計画
 - ・『本編 民俗1』「2章 平地・農村」の構成案
 - ・『本編 民俗1』の調査・編集について
- 『本編 民俗1』にむけた いの町(旧伊野町地区)民俗地図アンケート調査（5月24日）
安室委員（民俗地図担当）による旧伊野町3地点（鹿敷、神谷、成山）の聞き書き調査を実施。

2. 『資料編 民俗1 民話・民謡・地名』（令和9年度刊行）の調査・編集状況

〔執筆要領〕

3月17日 資料編1の執筆者で執筆要領案を検討。5月23日 第16回民俗部会において決定。

〔民話〕

常光徹部会長、中脇初枝氏（作家・調査協力員）

- ・「民間神話」、「伝説」、「昔話」、「世間話」、「人物譚」の5章で構成。
- ・高知県民話リスト13,801項目(476冊)、市原麟一郎氏民話録音テープ81本から、資料編に掲載する民話を選定（令和8年5月末まで）。選定した民話の確認作業を行い、掲載民話を決定（6月）。
7月から令和9年2月にかけて執筆(300ページ)。
- ・資料編に掲載する写真撮影も並行して実施（5/13 越知町など）。

〔民謡〕

岩井正浩氏（神戸大学名誉教授・調査協力員）

- ・「労作歌」、「祭り歌・祝歌」、「踊り歌」、「座興歌」、「語り物・祝福芸の歌」、「子守歌」、「わらべうた」の七分類で構成。

- ・昭和 62・63 年度に実施された「高知県民謡緊急調査」調査表、及びその報告書である『高知県の民謡』を中心に、掲載民謡を計 746 曲選定済み（掲載用写真も併せて選定）。一部民謡については楽譜を掲載する。
- ・「高知県民謡緊急調査」で録音されていた音源から、選定した 21 曲の楽譜化・浄書を実施（令和 8 年 2 月完了）。
- ・七分類の解説を執筆中（令和 8 年 9 月完了見込み）。解説と民謡を合わせて 300 ページ。

〔地名〕

楠瀬慶太氏（高知工業高等専門学校准教授・調査協力員）を中心とした地名班

- ・「総論」6 節、「自然と地名」3 節（地形、風水害、生物）、「人と地名」5 節（歴史、集落、交易・紀行、生業、信仰）の 3 章で構成。特徴的な地名はコラムとして掲載。
- ・掲載予定の地名 150 項目を選定済み。
- ・執筆に必要な情報を集成した地名データベースを作成し、これを基に執筆。整備したものは「県史地名データベース」として活用予定（作業完了は令和 8 年 10 月予定）。
- ・文献調査や現地調査（掲載用写真撮影含む）を実施（～令和 8 年 9 月）。
- ・執筆は、令和 8 年 6 月までに 50 ページ、8 月までに 100 ページ、9 月までに 150 ページを完了予定（計 300 ページ）。

3. 『本編 民俗 1』（令和 13 年度刊行）の準備状況

高知県の地域性から民俗の特徴を記述する

- ・「序章」（高知県の民俗、民俗地図）、「平地・農村」、「山村」、「海村」、「町と都市」の 5 章構成。
- ・担当は「序章」常光部会長・梅野光興委員・安室知委員、「平地・農村」中村淳子委員・安室委員、「山村」梅野委員、「海村」川島秀一副部長、「町と都市」山本志乃委員
- ・民俗部会において、各章の構成や内容を検討。

令和 8 年 5 月部会では安室委員が「平地・農村」の構成案を報告し、協議。

- ・「序章」掲載の民俗地図作成の基となる全県的なアンケート（34 市町村・170 地点）を令和 8 年 5 月より開始（2 年計画）。安室委員による聞き書き調査（5 月 24 日の町）をモデルとして事務局職員や自治体協力者によるアンケートを実施。（事前準備として令和 8 年 1～3 月に事務局職員が 34 市町村を訪問し、概要説明と話者紹介の依頼などを行った）

4. 『資料編 民俗 2 民具（仮）』（令和 20 年度刊行）の準備状況

- ・担当は中村委員・石垣悟氏（國學院大學准教授・調査協力員）
- ・令和 8 年度末に巻構成や編集方針を決定するため、年度内に県内の民具収蔵施設を巡検する（4 回）。

○『資料編 民俗 1』民話関係調査の様子 耳なし地蔵、杉原神社(越知町) 乗台寺(佐川町)



令和 8 年度文化財部会活動報告（令和 8 年 3 月 3 日～令和 8 年 5 月 15 日）

1. 文化財部会の開催について

第 5 回文化財部会：令和 8 年 4 月 20 日（月）09：00～12：00

於：高知県自治会館 6 階会議室

- 協議事項……（1）第 5 回部会協議内容について
（2）令和 7 年度の依頼状況について
（3）令和 8 年度の調査計画スケジュールと課題について
（4）「ときのあかし vol. 3 2027」執筆担当について
- 報告事項……（1）令和 8 年度予算の執行について
（2）事務局業務報告 について
- その他……（1）第 1 期計画の内容確認及び第 2 期計画への追記事項について
（2）人権的配慮を要する事項及び個人情報の取り扱いについて

2. 各委員の調査

○史跡等

- 3 月 6 日（金）県指定 安芸郡東洋町法喜院・観音堂 県指定名留川観音堂の古仏群関連調査
室戸市にて神社調査
- 3 月 27 日（金）県指定 中土佐町大野見竹原熊野神社の熊野三山本地仏懸仏の生物被害修復後確認調査
- 4 月 13 日（月）甲浦八幡宮、野根山街道（左手ヶ坂・四郎ヶ野峠等）
県指定 安芸郡東洋町法喜院・観音堂 県指定名留川観音堂の古仏群関連調査、宝永の名留川地区の土砂災害跡、近世埋没集落遺跡確認調査（考古部会と共同調査）
- 4 月 28 日（火）個人 土佐遍路道関係石造調査・拓本資料調査（考古部会と共同）
- 4 月 29 日（水）四万十町若井部落の花太刀踊りの記録資料（『窪川史断章 昭和 47 年』）文献調査
- 5 月 1 日（金）国史跡 土佐遍路道金剛福寺道「眞念庵周辺道」関連文献調査

○文化的景観等

- 4 月 24 日（金）四万十川の文化的景観 四万十川流域文化的景観連絡協議会 市町村への写真提供依頼（四万十町）

○民俗文化財・無形文化財

- 3月1日(月) 久保川お伊勢踊り 現地調査(津野町)
- 3月4日(水) 一絃琴聞き取り調査(高知市)
- 4月3日(金) 調査協力員オンライン打合せ(幡多神楽・土佐の茶堂習俗)
- 4月8日(水)・9日(木) オーテピアで高知新聞 DB 祭り記事調査・高知県立歴史民俗資料館調査
- 4月13日(月) 調査協力員打合せ(津野山神楽・津野山古式神楽)
- 4月23日(木)・24日(金) オーテピアで高知新聞 DB 祭り記事調査・土佐和紙調査
- 5月3日(日) 幡多神楽 現地調査(四万十町)

○天然記念物 植物

- 3月5日(木) いの町 県指定 樅ノ木山のオスギ 調査(撮影・計測)
- 3月28日(土) 仁淀川町 県指定 大藪のひがん桜 撮影(花)
- 4月13日(月) 香美市物部 県指定 大栃のムクノキ 調査(撮影・計測)
- 4月23日(木) 四万十市竹屋敷 県指定 竹屋敷の藤 撮影(花)
- 4月26日(日) 津野町 県指定 東津野村の大藤
- 5月13日(水) 高知市大津 県指定 仏生寺の大椎 撮影

○天然記念物 地質鉱物

- 3月12日(木) 一般社団法人室戸ジオパーク推進協議会(2月発足)と意見・情報交換、調査に関する協力を依頼(室戸市)
- 4月11日(土) 足摺ジオパークの天然記念物・その他文化財を活用した「2027年度地震火山地質子供サマースクール」開催を決定(3学会企画委員会・地質学会執行理事として)
- 4月12日(日)～5月15日(金) 室戸ユネスコ世界ジオパークのJGN現地調査書作成に協力(ジオサイトほか文化財の保存活用計画記述校閲を含む)
- 5月10日(日) 本年度調査計画について議論(海洋コア)、調査時期・担当を再調整
- 3月～5月 本山町教育委員会より県指定天然記念物「紅簾石珪質片岩の大路頭」の国指定昇格について打診があり、平島京都大学名誉教授(変成岩岩石学)に打診(3月、オンライン)、文献調査を実施(3月～5月)、近接する枕状溶岩の高圧変成岩露頭や変成時の著しい流動を示す鞘状褶曲の露頭なども併せて、国指定天然記念物への昇格に取り組む

方針を議論（4月、ハイブリッド会議@海洋コア）、夏の渇水期に川沿いでの調査を検討中（1泊2日3名予定；5月現在）

令和8年6月04日

令和8年度第15回 文化財部会資料

令和8年度第15回県史編さん編集委員会資料

1 佐喜浜の経塚 ■県・史跡 ■昭和28年1月29日 室戸市佐喜浜矢立山

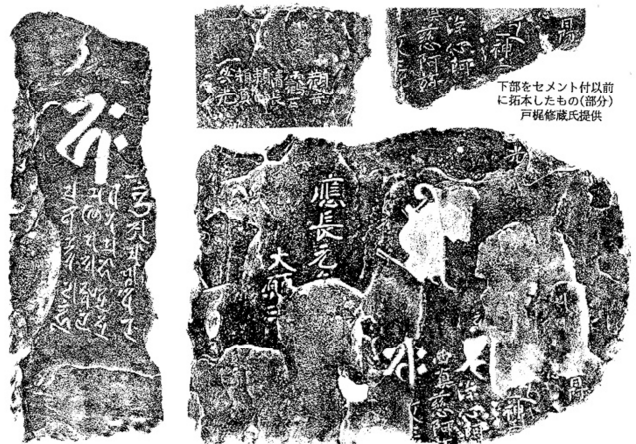


第1図 佐喜浜経塚と佐喜浜八幡宮

第2図 史跡 佐喜浜経塚 応長元年銘 (1311)



第3図 蛭子石 正和五年 (1316) 銘
 (『土佐国史料集成 南路志』第2卷より)



第4図 史跡 佐喜浜経塚 拓本
 個人提供



第5図 佐喜浜八幡宮



第6図 佐喜浜八幡宮の「八幡大菩薩」碑
弘化（1844～1848）年間とされる



第7図 佐喜浜八幡宮
「武運長久祈願」
昭和17年3月 佐喜濱国防婦人会

2 土佐和紙（いの町紙の博物館）

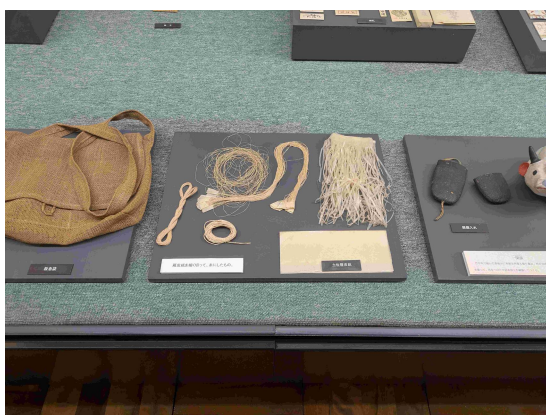


第 8 図 土佐和紙の展示



第 9 図 手漉和紙用具製作

■国選定 選定保存技術（団体） 無形
■昭和 51 年 5 月 4 日



第 10 図 土佐雁皮紙の展示



第 11 図 吉井源太についての展示

撮影協力・提供：いの町紙の博物館

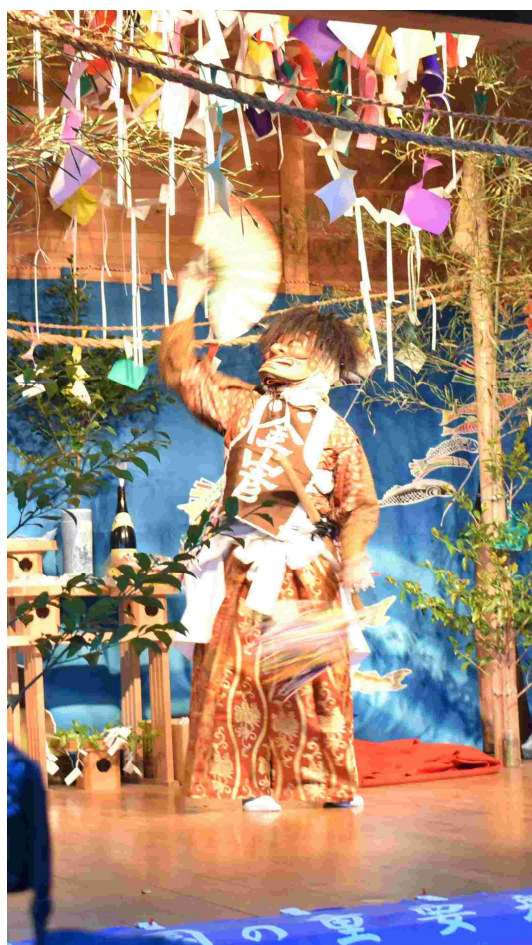
3 幡多神楽

■重要無形民俗文化財

■昭和 55 年 1 月 28 日 四万十町十川 星神社 幡多神楽保存会



第 12 図 星神社の舞台



第 13 図 「金山彦の舞」



第 14 図 「鬼神払い」

高知県史編さん自然部会の活動状況について

令和8年6月4日

高知県史編さん自然部会
正副部会長

1 自然部会の発足について

(1) 委員構成

- ①正副部会長 部会長 原忠、副部会長 邑田仁
- ②調査協力員 第1編 生物（両生類・爬虫類・哺乳類・昆虫）・植物・地質
第2編 自然災害（元県土木部職員等）

(2) 自然編（本編）のコンセプト

- ①高知の自然環境と多様な生物の特徴と特質について、これまでの自然史科学の成果をふまえて叙述する。
- ②高知の自然災害について、通史的に叙述するとともに、自然災害と関連する都市計画や開発、災害復旧・復興の歴史を取り上げる。
- ③高知の自然について県民の理解と愛着を深めるため、写真や図表を多く盛り込み、ビジュアルを重視した紙面構成とする。記述に関連したトピックをコラム記事で取り上げる。

(3) 構成と記載内容の骨子(案) ※A4判 500頁(1節あたり6~8ページ想定)

第1編 高知の自然と人（仮）

- 総論
- 第1章 高知の地質・地形と気候
- 第2章 高知の植物
- 第3章 高知の動物

第2編 高知の自然災害とまちの変遷（仮）

- 総論
- 第1章 高知の自然災害史
- 第2章 災害からの復旧・復興

(4) 刊行スケジュール（予定）

- R 8~13年(6年) 各論の調査・執筆
- R 14~15年(2年) 総論の執筆、全体調整、編集(校正)、刊行

2 部会や協議の状況

(1) 第1回自然部会（5月25日実施）

- コンセプト・骨子・構成内容・体制等の確認、今後の進め方について

(2) 生物分野準備会（4月9日実施）

- コンセプト・骨子・構成内容等の確認、今後の進め方について

(3) 今後の予定

- ①第1編担当者会の実施
- ②第2編担当者会の実施（個別打ち合わせの可能性あり）
- ③第2回自然部会の実施（令和9年1~2月想定）

『高知県史』編さん事業 第1期総括表 (令和3～7年度)

※記号は進捗の状況
 ◎：計画以上に進んでいる
 ○：おおむね計画どおり
 △：計画より遅れている

資料3別紙

部会名 (設置年)	(1)編さん体制の構築・運営				(2)資料調査の実施 (計画部分：第一期計画より引用・要約)				(3)編集 (計画部分：令和7年度編集委員会資料より引用)				
	第1期 計画 策定	編集方針 策定	部会 運営	区分	調査した主な資料群・文化財等 調査実施地域		資料データの収集 (撮影等)の状況		刊構成、収載項目 (目次)の決定状況		資料の活字化(翻刻等) ・図化・校正 (執筆原稿案化)		※参考 初刊発刊 年度
近世 (R4)	◎	◎	16回	計画	・県内外の文化施設や個人が所有する古文書の悉皆的な所在確認を実施 ・県内外の近世に関する史料について実地等による確認や調査を実施				・項目の決定 ・目次案の作成		・資料の活字化(「資料編1」翻刻完了)		R8年度 (資料編1)
				実績	・山中家文書・足達家文書(芸西村) ・関田英里氏収集史料(高知市) ・門脇家文書(馬路村) ・北川家文書(東洋町) ・伊賀家古文書・妙栄寺寺古文書(宿毛市)等	◎	・調査史料群 26件 史料点数 8,661点 撮影枚数 88,566枚	◎	・掲載史料の検討、選定(R5～R7年度) ※掲載史料 藩志内篇、山内家、五藤家、森家 加賀野井家 ・刊構成検討(R6～R7年度)	○	・史料の活字化 「資料編 近世1」 984頁分 その他 683頁分	○	
近代 (R4)	◎	◎	16回	計画	・県内の博物館、資料館、並びに県及び市町村の関係部署、図書館及び国立公文書館や国立国会図書館など、県内外の資料 保存機関が所蔵する資料の収集などを念頭に、資料の所在情報確認を実施 ・調査に当たっては、県内を各地域に分けて、地域ごとに集中的な調査を実施。				・項目案の作成 ・掲載資料の選定		・資料の活字化(翻刻)356頁分 (資料編1ページ換算：950字換算)		R9年度 (資料編2)
				実績	・旧池川町役場資料(仁淀川町) ・安芸市旧役場・戸長役場文書(安芸市) ・北原村役場資料(土佐市) ・高知市立自由民権記念館所蔵資料(高知市) ・高知市民図書館所蔵資料(高知市) ・室戸市旧役場資料 ・土佐町旧役場資料 ・市町村議会資料(須崎市、大月町、土佐清水市等)	○	・調査資料群 50件 資料点数 6,240点 撮影枚数 322,189枚	○	・誌面構成の検討(R7年度) ・ページ割りの検討(R7年度) ・章、節の検討(R7年度) ・掲載資料選定(R7～8年度)	○	・資料の活字化(翻刻) 「資料編2」 474点(1,730頁)	○	
民俗 (R4)	◎	◎	15回	計画	・関係者への聞き取り、生活道具、石造物、建築物、絵画資料、祭り、行事、芸能などの調査、民俗関連の文献などの調査 ・本県の民俗に関して県内外で発表された論文、資料報告、著書等について、文献リストを作成				・項目案の確定 ・掲載資料の選定		-		R9年度 (資料編1)
				実績	・合同民俗調査 4回 (中土佐町・橋原町、東洋町、幡多地域) ・個別調査 88回(委員・調査協力員・事務局) ※民俗芸能調査5回(動画撮影3回含む) ・中土佐町民具整理調査	◎	・民話文献リストの作成(口承文芸) 476冊 13,801項目 ・民話録音テープのデジタル化 81本 ・民謡楽譜浄書作業 24曲 ・高知県地名データベースの作成 (大字・小字) 118,000件	◎	・「資料編1」の巻構成決定 (民話・民謡・地名：R5年度) ・「本編1・2」の項目案(R5年度)	○	・「資料編1」 民話 掲載第1次選定リスト作成 民謡 原稿300頁 地名 掲載150地名選定	○	
古代中世 (R5)	◎	◎	9回	計画	・前回県史所収の近世編さん史料集(「土佐国書簡集」など)の調査、県内外自治体史収録史料のデータ収集、関係論文の 悉皆的調査、東京大学史料編纂所での複製史料抽出作業及びその他必要な史料調査(事前調査、部会調査、個別調査)を 実施				・項目案の作成 ・掲載史料の選定(収集)		・活字化資料の基礎校正、整序作業 (※対象) 古代史料 430件 中世史料 2,112件(R8・R9の前倒し)		R10年度 (資料編1)
				実績	・土佐国書簡集 ・東京大学史料編纂所蔵画像 (マイクロ・デジタル) ・香宗我部家伝証文(東京国立博物館蔵)等	◎	・中世史料統合文書目録 2,470点完了 (資料選定の基礎データ整理)	○	・資料編各巻の巻構成を決定(R5年度) ・掲載項目の整理(R7年度)	○	・資料の活字化 古代資料 430点 中世資料 479点	○	

『高知県史』編さん事業 第1期総括表 (令和3～7年度)

※記号は進捗の状況
 ◎：計画以上に進んでいる
 ○：おおむね計画どおり
 △：計画より遅れている

資料3別紙

部会名 (設置年)	(1)編さん体制の構築・運営				(2)資料調査の実施 (計画部分：第一期計画より引用・要約)				(3)編集 (計画部分：令和7年度編集委員会資料より引用)				
	第1期 計画 策定	編集方針 策定	部会 運営	区分	調査した主な資料群・文化財等 調査実施地域		資料データの収集 (撮影等)の状況		刊構成、掲載項目 (目次)の決定状況		資料の活字化(翻刻等) ・図化・校正 (執筆原稿案化)		※参考 初刊発行 年度
現代 (R5)	◎	◎	12回	計画	・オーテピア高知図書館や県立公文書館などに収蔵されている本県現代史の文献及び資料の調査を実施するとともに、県内各地域の関係機関、施設等において、資料の所在調査を実施。 ・国立国会図書館・農林水産省図書館・JICA海外移住資料館などの県外の関係機関、施設での公文書・文献調査の実施。				・目次案の追記・修正(R6に案を策定済) ・掲載資料の選定		・資料の活字化(翻刻)44頁分 (資料編1ページ換算：950字換算)		R10年度 (資料編1)
				実績	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
考古 (R6)	◎	◎	7回	計画	・旧石器時代から古墳時代までの、約270ヶ所の主たる遺跡を抽出し、それらについての調査を実施。				・編集計画並びに目次と項目の具体案の確認		-		R11年度 (資料編1)
				実績	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
文化財 (R7)	◎	R8策定	4回	計画	・資料編1巻目に掲載する文化財(無形文化財・民俗文化財・記念物・文化的景観等)が置かれている現状を把握するため、県内文化財の調査報告書や修復、保全・保護・活用などに関する情報の収集及び資料化 ・資料編1巻目掲載の文化財の現地調査を実施				・掲載項目の基礎資料収集		-		R10年度 (資料編3)
				実績	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

※編集方針は部会発足の翌年に作成するため、文化財部会は令和8年度に策定予定(文化財部会：令和7年度発足)

事務局	・編さん委員会 4回 ・編集委員会 14回	○	実績	<p>【資料データ収集・管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料所在概要調査全34市町村(R6年度完了) 県史クラウドシステムの開設、運用(R5～) <p>【人材育成の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「歴史資料調査隊」養成講座の開催 10回(R4～) <ul style="list-style-type: none"> ◇資料撮影編 修了者70人 ◇聞き書き・動画撮影編 修了者7人 ◇史料解読編 修了者18人 <p>【広報・啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果報告会の実施(R4～)(中土佐町、芸西村、安芸市、四万十市) 文化広報紙「とさぶし」年4回(R6～) 県史編さんニュースレター「ときのあかし」年1回(R6～) 	○
-----	--------------------------------	---	----	--	---

特記事項：その他実績（計画以上に取り組んだ内容など）		
部会	部会活動（事例報告会や資料紹介等）	事務局の取組（データ整理環境の構築など）
近世	<ul style="list-style-type: none"> 調査報告会と講演会の実施（R5） 旧久重村（芸西村）の史料調査の結果を報告 歴史資料保存と土佐清水 大津地域の古文書シンポジウム（高知地域資料ネットワーク・土佐清水市と共催）で史料所在調査の報告を行った 調査結果の共有 高知県立図書館へ目録等を提供 	<ul style="list-style-type: none"> 調査した史料群の目録作成及び撮影 ※原則、史料は時代問わず全点撮影 人材育成（撮影・翻刻）
近代	<ul style="list-style-type: none"> 調査報告会の実施（R6安芸市） 旧役場資料に関する調査結果を報告。 資料編3以降に収載予定の資料調査 県内の他の資料保存機関と連携し、収蔵資料の提供を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 目録作成 撮影データの整理 資料翻刻サイクルの構築 「戦前期高知県職員録」及び「戦前期高知県法令一覧」の目録化
民俗	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方へのアンケート調査の実施（「本編1」民俗地図作成のための基礎データ収集） アンケート調査事の前準備 県内34市町村訪問（依頼） 	<ul style="list-style-type: none"> クラウド環境整備（収集・作成データ整理） 合同調査資料、資料編1（民話文献、市原氏録音テープ、民謡音源・映像データ、地名データ）資料、民具調査資料、市町村別民俗調査ノート、民俗文献リスト など
古代・中世	<ul style="list-style-type: none"> 東京大学史料編纂所への受託研究との連携（ネットワーク環境における史料集編纂作業） 	<ul style="list-style-type: none"> 旧県史及び東京大学受託研究以外での史料調査 古代史料校正作業
現代	<ul style="list-style-type: none"> 調査報告会の実施（R5 芸西村） 久重会（旧芸西村の同郷会）に関する調査結果報告 	<ul style="list-style-type: none"> 県内外の団体等への資料調査 26件（聞き取り含） 第一次産業5団体（JA・JF・木材協会等） 第二次産業4団体（工業会・酒造組合等） 第三次産業17件（各高知県人会・とさでん交通等）
考古	中世山城の調査成果の報告会実施（R7.12、R8.1）	<ul style="list-style-type: none"> 委員調査に向けた地元との調整等
文化財	<ul style="list-style-type: none"> 「土佐の伝統芸能フォーラム」における啓発活動（R8.1 高知市） 史跡、民俗文化財に関する論考の執筆 	<ul style="list-style-type: none"> 作成 民俗文化財祭礼日程（市町村別） 文化財指定史（分類別） 調査者、調査担当者一覧表（分野別） 文化財指定原票データのクラウドアップ 176件

人権的な配慮を要する事項及び個人情報等の取扱いに関する方針

令和8年6月4日
高知県史編さん編集委員会

1 編集委員会としての考え方

(1) はじめに

すべての人間は、生まれながらにして自由であり、尊厳と権利について平等である。世界人権宣言にうたわれているこの理念は、人類普遍の原理であり、日本国憲法においても、法の下での平等及び基本的人権の保障について定められている。

この理念の下に、すべての人々がそれぞれ一人の人間として、お互いを大切にし、大切にしよう人権尊重の社会を築くこと、差別のない、差別が受け入れられない人権尊重の考えが普遍的な文化として根付くことが必要である。

以上の理念及び考えを踏まえ、高知県人権施策基本方針に則り高知県史の編集に取り組むことが必要である。

(2) 編さんと発刊にあたって

高知県史の発刊は、各時代・分野の方法論により、客観的な史資料に基づいて学術的に調査・研究した成果を、広く県民に公開することを目的としている。決して人権を軽視したり、差別を容認や助長しようとするものではない。

そのため、各専門部会においては、資料の掲載や記述の内容について、県史を歴史研究等の資料として有効に活用していただくことを考慮し、学術的な見地から十分に議論をした上で、県史発刊に向け編集を進めることに留意する。

2 人権に関する事項や個人情報に関する事項等の取扱いについて

各専門部会においては、下記に関する事項の取扱いについて、調査及び編集の過程で特に慎重な取扱いを行う。

○高知県人権施策基本方針に掲げる人権に関する事項

○個人情報に関する事項

また、史資料の掲載や、記述を行う場合、その取扱い方については、高知県史編さん基本方針及び本方針等に基づき、その趣旨を踏まえ、各専門部会で十分に検討する。

上記を踏まえ、編集委員会として本方針を策定する。

第5回高知県史編さん委員会の進め方について

県史編さん活用課

1 県史編さん委員会の運営について

(1) 令和6年度までの課題

- ・令和6年度まで各部会が個別に進捗状況を説明。
- ・編さん委員会委員（外部委員）からの質疑がない。
- ・令和6年度の編さん委員会説明時に、編さん委員長（知事）から、「委員の方の発言時間が確保できるように、編さん委員会のタイムスケジュールを見直すように、工夫してほしい」とのコメントあったところ。

(2) 令和7年度の対応と結果

- ・発表部会を4部会（近世、近代、民俗、考古）とし、あとは事務局から報告。
- ・編さん委員会委員への事前説明と発言の依頼を行い、委員から発言を得た。
- ・一方的な報告でなく、活発な意見交換は、会議後、大変好評を得た。

2 令和8年度の対応（協議事項）

(1) 昨年度からの対応

- ・事前に委員に説明に回り、編さん委員会での発言を依頼
- ・発表部会は昨年同様に最大4部会でお願いしたい。

例：近世（今年度発刊内容の説明）、古代中世、現代、文化財

（令和10年度発刊）

○編さん委員会でのお願い（基本的には昨年度と同じ）

- ・会議の場における進捗管理の報告については、委員への資料の事前送付や事前説明などを徹底することで、会議の場では、事務局から説明を行う。
- ・各部会からは、5分程度でこれまでの調査活動のうち、わかりやすい形でご発言をお願いします。

（部会によっては、事前に事務局からご相談する場合あり）

- ・説明用の資料は、例えば、ワンペーパーにするなど簡潔な作成をお願いします。説明の際には、一般にわかりにくい専門用語については、極力控えつつ、簡潔な内容（課題⇒調査内容⇒調査結果）でお願いします。

<参考>

第5回高知県史編さん委員会の進行（案）

日時：令和8年9月7日（月）13:30～15:00

場所：高知県庁 本庁舎2階 第2応接室

- 開 会 【4分】

- 1 委員長（高知県知事） あいさつ 【4分】

- 2 副委員長（高知県史監修者） あいさつ 【4分】

- 3 報告事項
 - （1）高知県史の取組状況
 - （2）高知県史の掲載内容に関する要望について
 - （3）広報啓発、人材育成について
 - （4）各専門部会の調査活動について} 【質疑応答含め10分】

- 質疑応答
【事務局7分＋部会報告（4部会×5分）20分＋質疑応答30分＝57分】

- 藤井副委員長より発言 【4分】

- 濱田委員長より総括 【4分】

- 閉 会（総括） 【3分】